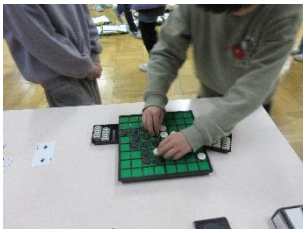
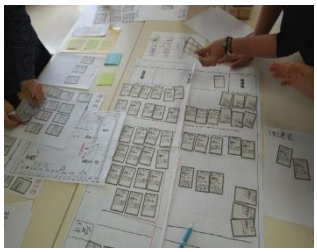
北区福祉教育メニュー表

令和８年４月１日

福祉教育は、福祉活動に触れ合うことで、相手を思いやる力・共に生きる力を育みます。身近に感じていても学ぶ機会の少ないテーマに取り組むこともできます。学校、自治・町内会の集まり、お茶の間サロンの講座、企業等へ出向いて各種講座を開催します。詳細は事前打ち合わせで説明させていただきますので、お気軽にご相談ください。

北区社会福祉協議会　tel　０２５－３８６－２７７８

	メニュー	プログラム概要	目的（ねらい）	イメージ
１	福祉講話	○高齢者福祉・障がい者福祉・児童福祉・地域福祉の講話	①福祉の歴史やふだんのくらしのしあわせについて学ぶ ②「しあわせの形」は一人ひとり違いがあることを学び、人のことを考える気持ちや態度を育む（多様性の尊重） ③どのようにしたらすべての人が自分らしく、しあわせに生活できるか考える	
２	ユニバーサルデザインとバリアフリー	○ユニバーサルグッズやデザインの紹介や、ユニバーサルデザインとバリアフリーの考え方	①ユニバーサルデザインとバリアフリーの意味を理解する ②身近な物の工夫を知ることで周囲への思いやりの心を育む ③身近にある色々な工夫により便利に暮らせることを知る	
３	認知症の理解	○認知症サポーター養成講座	①認知症に対する正しい知識を理解する ②地域で認知症の方やその家族にできる手助けなどを学ぶ ③自分達にできることを考える	
４	地域の支え合い	○支え合いのしくみづくり授業 （地域活動との交流）	①地域の一員として、役割があるという気付きを促す ②助け合う楽しさを感じる ③生まれ育った地域に関心を向け、地域住民と関わりを持つ	
５	防災	○HUG（避難所運営ゲーム）	①避難所運営について学び、みんなで考えることができる ②避難所で起き得る様々な状況を理解し、その対応を学ぶ ③グループで疑似体験を行うことで参加者での交流ができる	

6	防災	○なまずの学校	①地震などの災害で発生する様々なトラブルを紙芝居形式で学ぶ ②災害時の人命救助や、非難の際に役立つ用具などを選択する能力を高める ③緊急対応やその後の避難生活に主体的に関わる力、意欲や意識を高める	
7	視覚障がいの理解	○視覚障がい当事者の講話・盲導犬のデモンストレーション	①視覚障がいの方の生活や盲導犬(補助犬)を理解する ②生活を便利にする工夫や視覚障がい者との接し方について学ぶ ③自分たちのできることを考え思いやりの心を育む	
8	視覚障がいの理解	○アイマスク体験	①視覚障がいとはどのような障がいか理解する ②どんな工夫をして生活をしているのかを学ぶ ③分り易い伝え方について学ぶ	
9	聴覚障がいの理解	○聴覚障がい当事者の講話・手話の体験（通訳）	①聴覚障がいの方の暮らしを知る ②聴覚障がい者の生活の工夫やコミュニケーション方法を学ぶ ③自分たちのできることを考え思いやりの心を育む	
10	障がいの理解	○障がい当事者との交流	①障がいとはどのようなものか理解する ②普段の生活の工夫やコミュニケーション方法を学ぶ	
11	車いす体験	○車いすを利用する方へのサポートの仕方	①車いすに乗っている方について理解する ②車いすの正しい扱い方を知る ③バリアフリーの大切さに気づく	
12	地域の支え合い	○支え合いのしくみづくり授業 （支え合いカードゲーム）	①地域の一員として、役割があるという気付きを促す ②助け合う楽しさを感じる ③生まれ育った地域に関心を向け、地域住民と関わりを持つ	